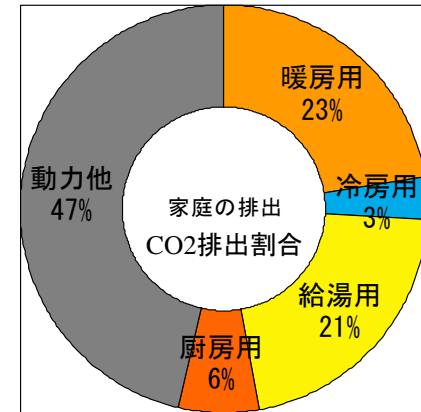
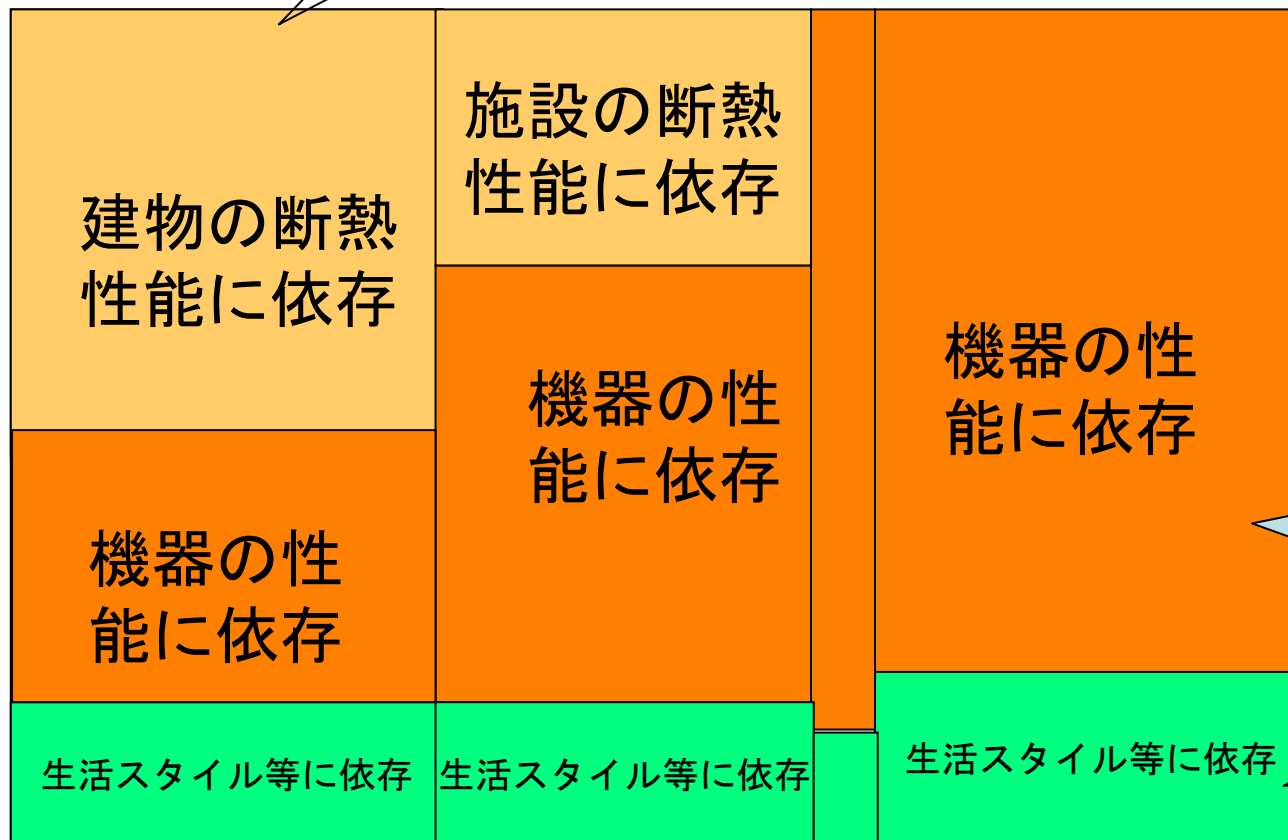


# 家庭の排出構造と責任分担

冷暖房 家づくり・木の利用 給湯 厨房 照明・動力 (家電など) 自動車も



日本エネルギー経済研究所「エネルギー経済統計要覧」の世帯当たりエネルギー消費量(2004年)に、日本政府インベントリで使用する排出量をかけて算出。



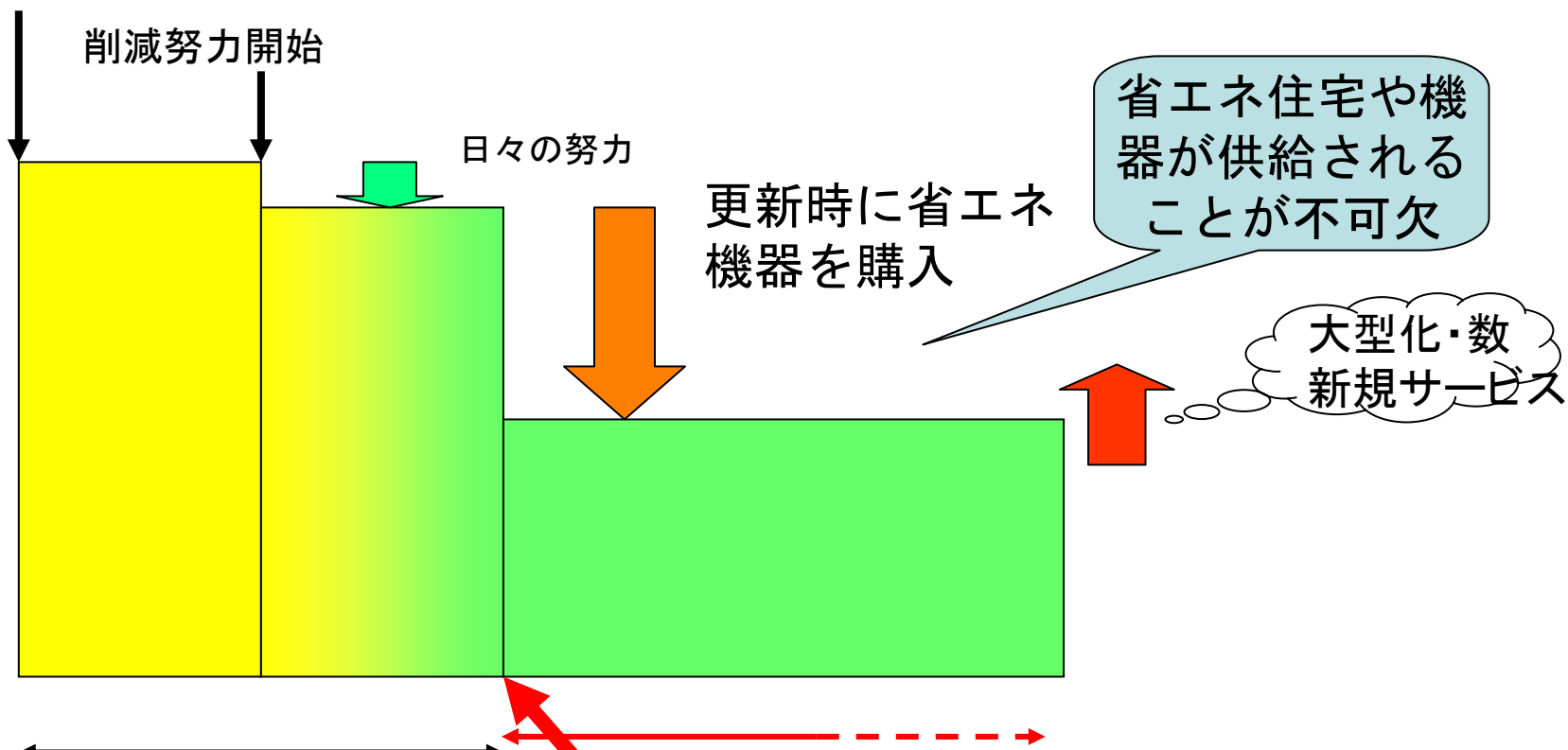
産業部門の製品の性能に依存する部分が大

家庭の努力が期待される部分

エネルギー消費量割合によるモデル

# 家庭での対策にタイミング

機器購入



建物や機器の寿命

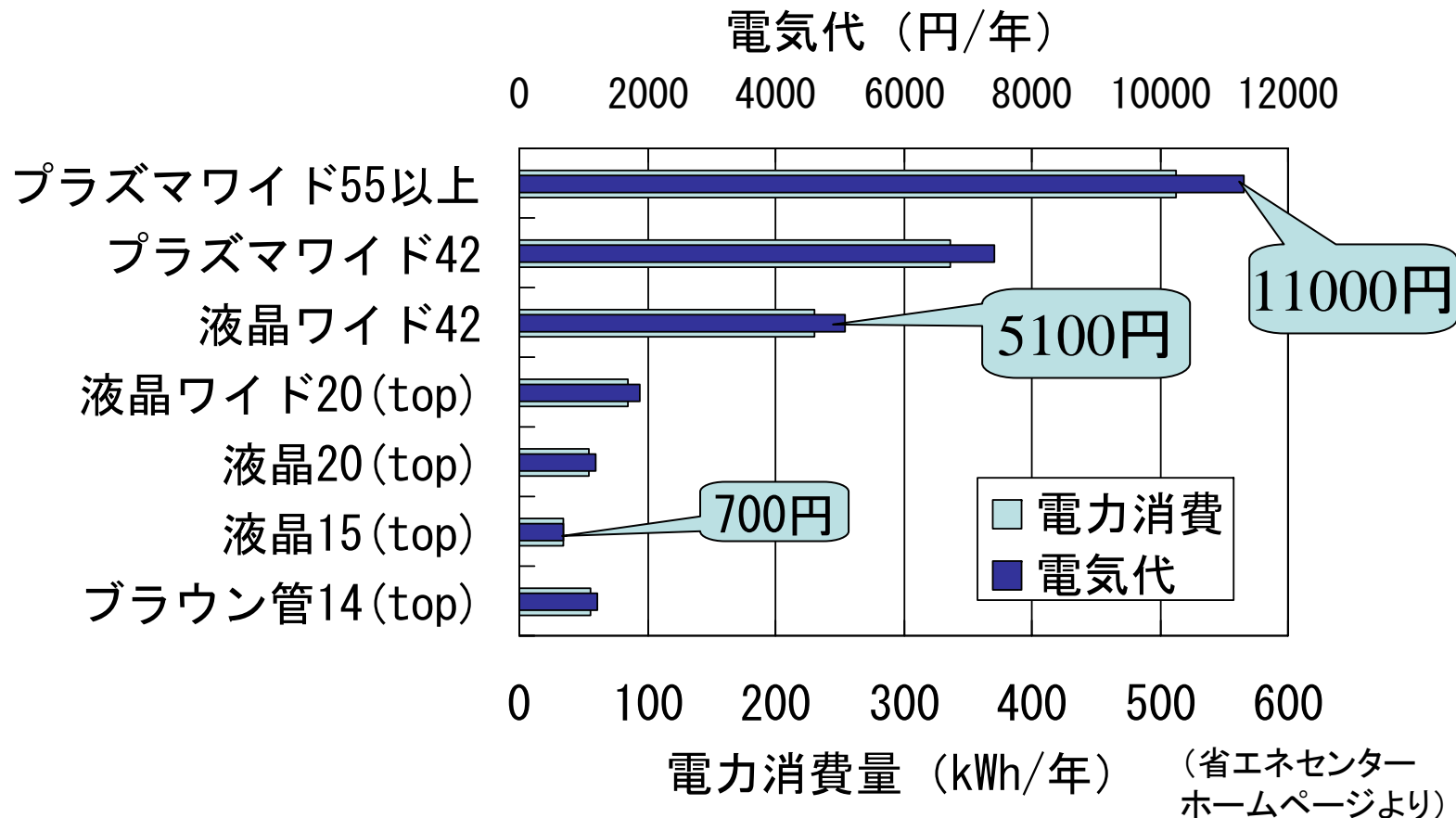
- ・ 省エネ住宅・機器の供給
- ・ 省エネ情報提供・選択

家庭での削減努力を活かす鍵

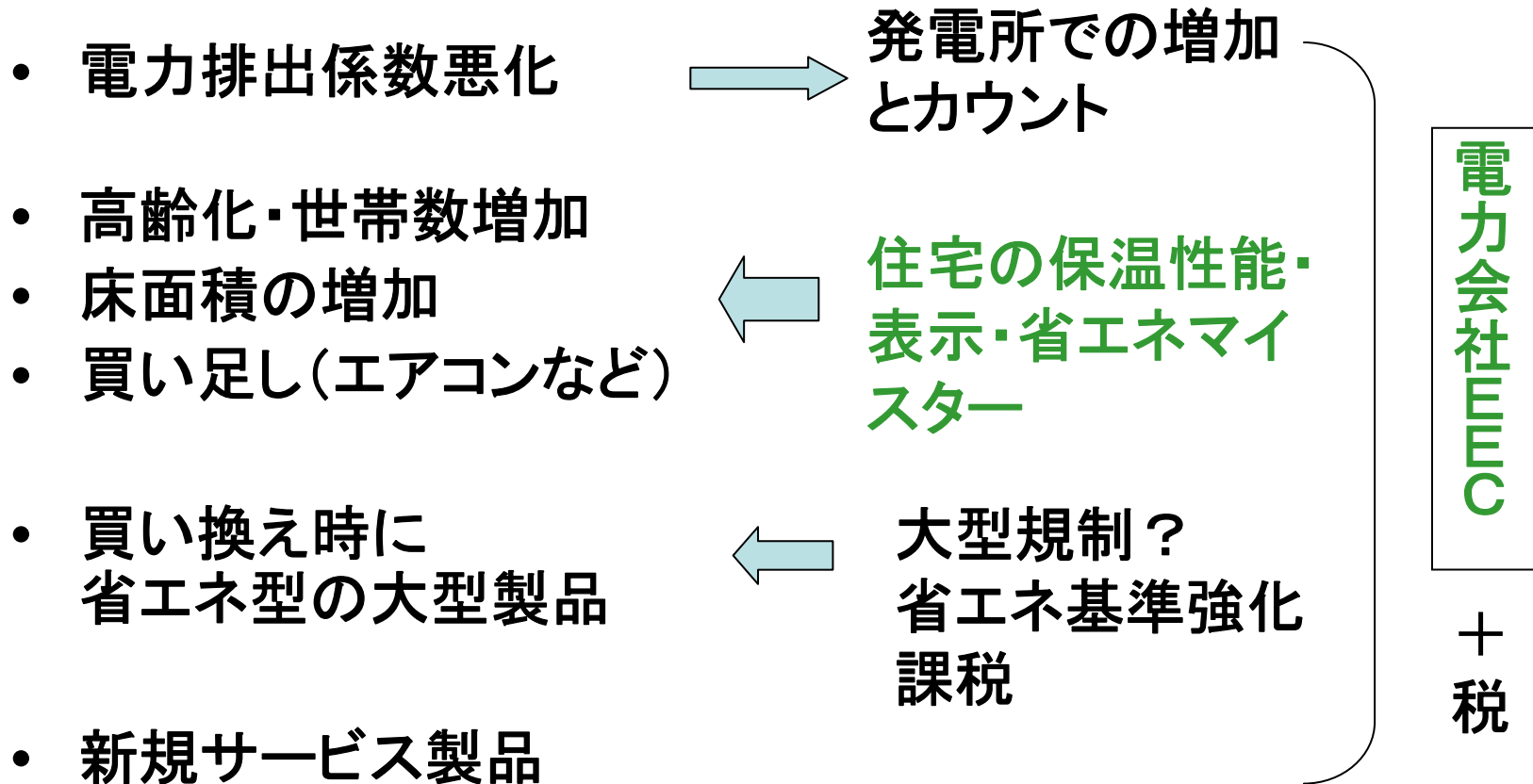
# 買い換えのジレンマ

## 大型家電はエネルギー消費増

- 大型テレビは小型のものに比べて排出を増加させる
- テレビは種類によっても大きく異なる
- 買い手責任？売り手責任？



# 家庭での削減行動の効果の相殺要因と対策



このままでは、買い換えても使わない運動に？

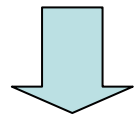


はじめまして、省エネマイスターです。

省エネマイスターは省エネ製品をお勧めしています。  
家電を買うなら省エネマイスターのお店にどうぞ。

このマークの裏には、省エネ製品の性能を比較するための、省エネマイスターのマークがあります。省エネマイスターは、省エネ製品の性能を比較するための、省エネマイスターのマークがあります。省エネマイスターは、省エネ製品の性能を比較するための、省エネマイスターのマークがあります。

省エネ性能	省エネ基準達成率	年間消費電力量	12年間の電気代(目安)	合わせて見ると
AAA	209%	100kWh	52,440円	172,440円
AA	137%	200kWh	77,280円	197,280円
A	132%	300kWh	104,880円	224,880円
B	79%	400kWh	132,480円	252,480円



## 京都府の取組例



ウッドマイレージCO2認証  
地元の木を地元で使う

2006年度  
この商品の省エネ性能は？

★★★★★  
省エネ基準達成率 100%未満 100%以上

省エネ基準達成率 APF  
目標年度2010年度 101% 6.1

メーカー 型番  
この製品を1年間使用した場合の目安電気料金  
**28,900円**

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

2006年度  
この商品の省エネ性能は？

★☆☆☆☆  
省エネ基準達成率 100%未満 100%以上

省エネ基準達成率 APF  
目標年度2010年度 73% 4.4

メーカー 型番  
この製品を1年間使用した場合の目安電気料金  
**40,100円**

使用期間中の環境負荷に配慮し、省エネ性能の高い製品を選びましょう。

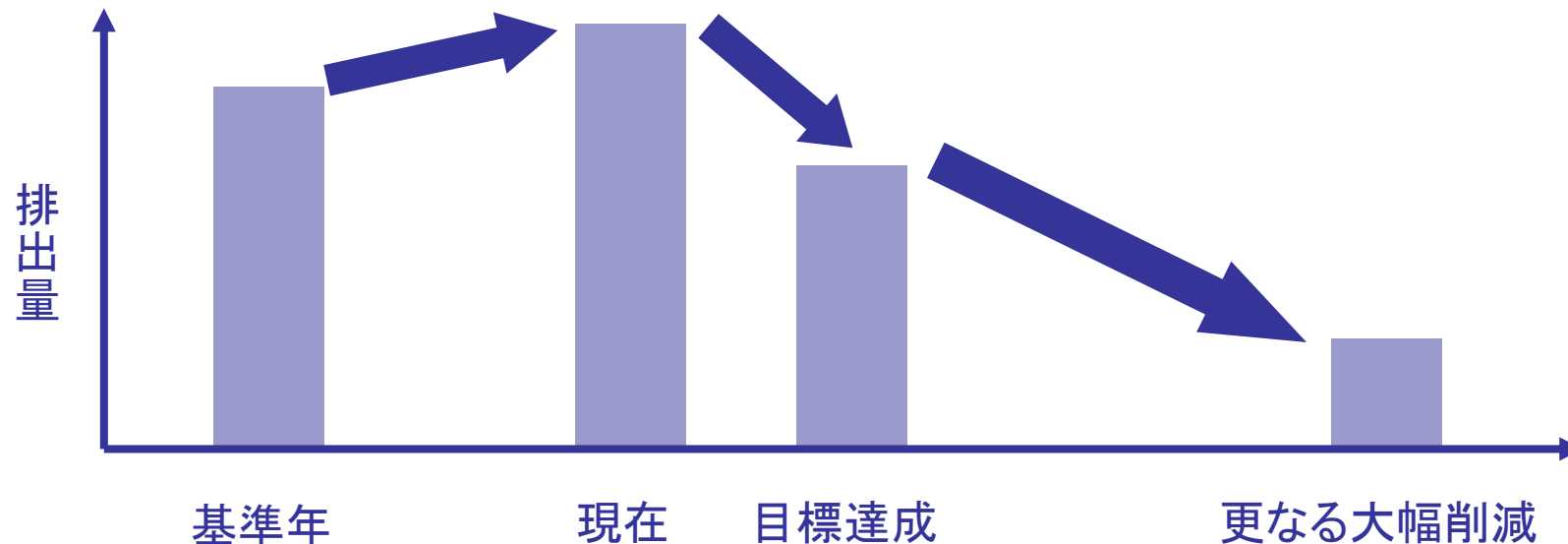
- エネルギー効率コミットメント(EEC)

- 電気・ガス供給事業者に、家庭部門と小規模の業務用施設の省エネ目標(エネルギー消費削減量)の達成を義務付け
- 電気・ガス料金に上乗せする形で需要家から費用を徴収

- 想定技術

- 電球の取替え(蛍光灯への交換)
- 既存住宅・建築物の窓(開口部)の断熱強化リフォーム
- 既存住宅・建築物の壁・屋根の断熱強化リフォーム
- 冷暖房機器の自動制御装置の設置
- 太陽熱温水器／ソーラーシステムの設置
- 高効率給湯器の設置
- 省エネ機器の導入(家庭用エアコン、業務用冷凍空調機器等)
- 太陽光発電の設置
- バイオマスストーブ・バイオマスボイラーの設置

# 追加対策に対する基本的な考え方（民生版）



## 目標の着実な達成

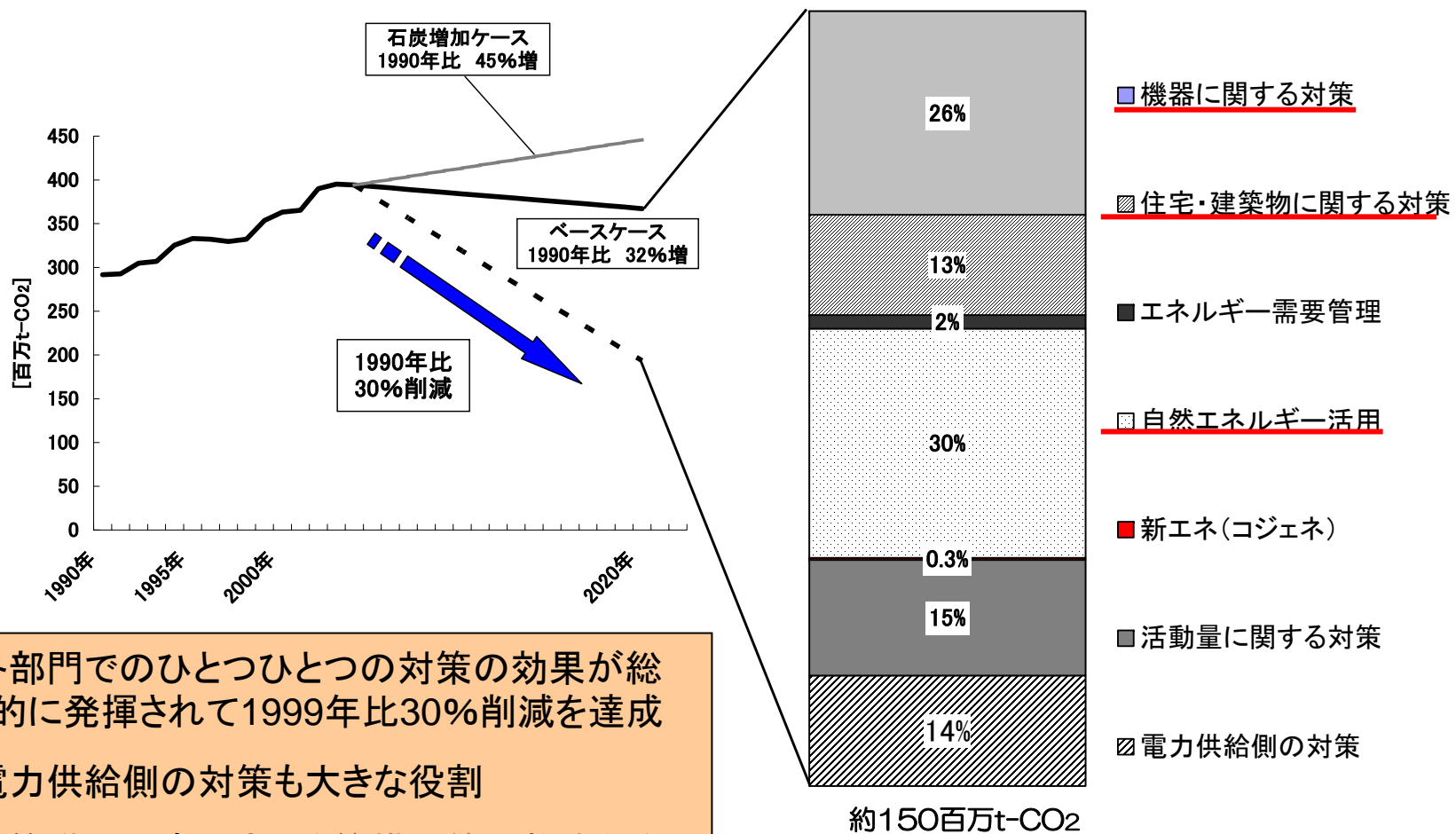
- 目標を確実に達成するために、2008～2012年にきちんと減らすことができる対策が必要
- “重点分野”をピックアップして実施

## 2013年以降を見据えた”政策”

- ストック効率の着実な改善
- 政策が効果を持つまでのリードタイムを考慮
- 一般消費者が自然に選んで省エネに
- 経済的インセンティブが不可欠
- 日々の善意・行動に依存しない

# 気候ネットワーク2020年30%削減プロジェクト報告から 民生(家庭・業務)対策ケースの推計

＜ベースケースからの削減量の内訳＞



- ・各部門でのひとつひとつの対策の効果が総合的に発揮されて1999年比30%削減を達成
- ・電力供給側の対策も大きな役割
- ・対策導入の考え方、政策措置等の抜本的な見直しが前提となって実現

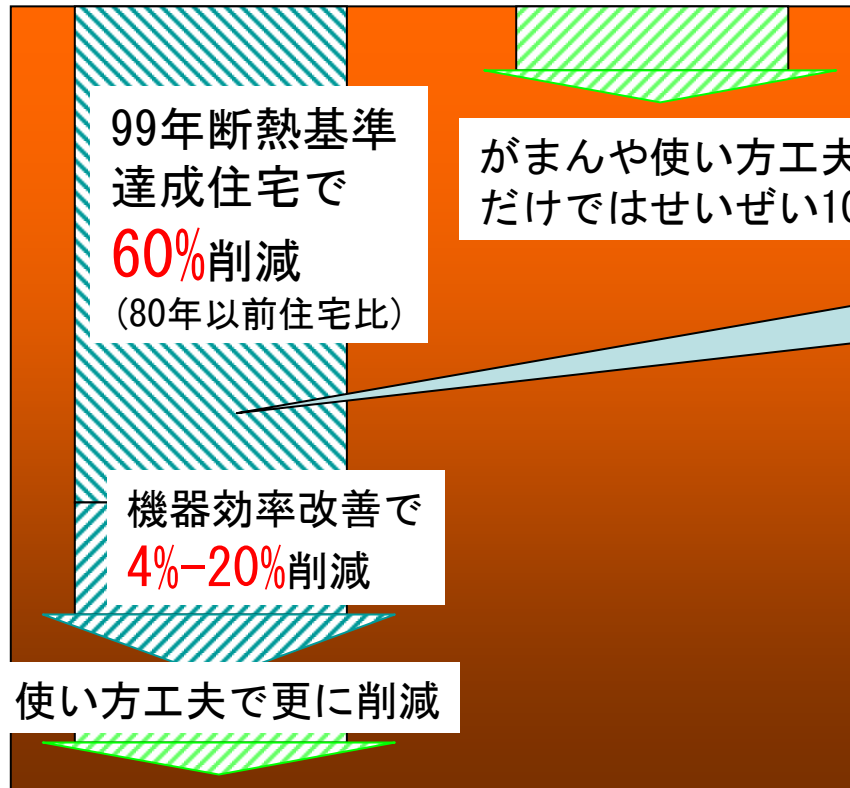
政策研究レポート「2020年30%削減社会ビジョンを描く」(2006年、気候ネットワーク)より



# 住宅の保温性能を基準化（新築）

実効的政策  
「市場の省エネ化」

浪費住宅・機器放置  
「自己責任」の場合



99年断熱基準  
達成住宅で  
**60%削減**  
(80年以前住宅比)

がまんや使い方工夫  
だけではせいぜい10%削減

機器効率改善で  
**4%-20%削減**

使い方工夫で更に削減

引っ越しの時  
**1日**じっくり思案

余裕をもって  
**+α**の対策取組

**30年間365日**欠かさず努力

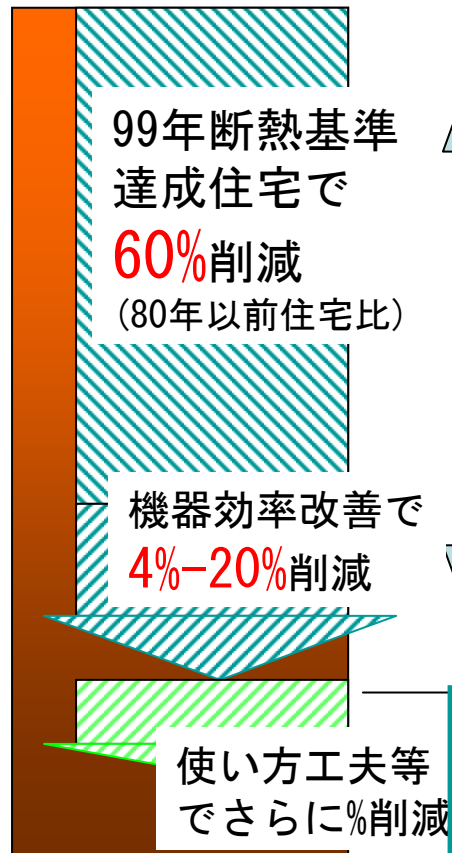
こまめな努力と我慢では  
現状維持がせいぜい。  
次の削減につながらない

**プロの努力**  
努力が報われる制度

消費者の努力・  
労力に委ねるの  
ではなく、  
政策導入が必要

# 住宅の暖房（新築）への役割分担

## 家庭の排出削減



### 国

- ・断熱基準（規制など）
- ・高効率機器以外市場に出ない仕組み（規制など）
- ・融資など

### 企業

- ・基準適合保温性住宅提供
- ・高効率機器の製造販売

### 市民：

- ・断熱住宅・高効率機器を選択
- ・創意工夫
- ・がんばる企業の応援など  
経済社会が変わるよう行動

大前提：削減の基礎になるこの部分の制度化（審議会にも役割）

### NGO

- ・省エネ診断・アドバイス
- ・市民の努力が生きる政策立案・提案・コーディネート

人づくり

### 自治体

- ・「断熱偽装」を許さない運用
- ・高効率機器ラベルなど
- ・融資など
- ・情報提供

### 地球温暖化防止活動推進センター、推進員

- ・取組のコーディネート
- ・引っ越し・建て替えや家電機器購入時・工夫をアドバイス